

第1次世界大戦と世界の変化

下の() にことばを入れましょう。

第一次世界大戦には多くの国が参戦し、世界を巻き込んで大きな被害を出した。戦争中や戦後、各地で新しい動きが起こった。

ロシア… 戦争中の1917年に、(①) 主義をめざすレーニンたちによって、ロシア革命が起こった。

アメリカ… 1918年、ウィルソン大統領が、民族自決や国際組織の設立など「14カ条の平和原則」を公表した。

ヨーロッパ… 同盟国の中心だった(②) では、戦争終結と皇帝の退位を求める革命が起こった。

戦後、多くの国が独立した。(③) が1920年に設立され、各国が今後は戦争を起こさないことを決めた。

アジア… 1919年、朝鮮では日本からの独立を求める(④) 運動が起こった。中国では、戦争中

に日本が中国政府に出した(⑤) に抗議する五・四運動が起こった。インドでは、(⑥) が非暴力・不服従によるイギリスからの独立運動をすすめた。

日本… 1918年、米の安売りを求める(⑦) が広がり、労働運動や女性運動、普通選挙を求める

運動などが盛んになった。1925年に(⑧) が制定され、25歳以上の男子が選挙権を得た。

歴史を体験する

やまもとせんじ 山本宣治の人物調べ

① 調べる人物を決める

授業のとき、「なぜ戦争に反対できなかったのか」と疑問をもちました。

先生は、「国民が自由に意見を言えなかったことも、理由の一つだ。治安維持法という法律で、取り締まったんだ」と答えてくれました。

図書館で調べると、治安維持法に反対した国会議員がいたことがわかりました。その議員は、山本宣治という人でした。



山本宣治代議士
兇漢に刺殺さる

兇漢に刺殺さる
東京の旅館で対談中
犯人は錦町署へ自首

京都日日新聞

② インターネットや本から調べる

治安維持法とは、どんな法律だったのか、インターネットで調べると、くわしく書いてありました。図書館に、治安維持法について書かれた歴史の本があったので、借りてきました。

小説家の小林多喜二が、警察署で拷問されて死亡したのも、治安維持法が原因だということもわかってきました。

山本宣治について書かれた本を読むと、宣治は治安維持法に反対したために、命を失ったことがわかりました。

出身地である京都府宇治市の市役所に問い合わせると、実家が、現在も、宇治で「花やしき」という旅館を営業しており、その近くに墓があることを教えてくれました。そして、宣治について研究している団体を紹介してくれました。